

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2006-103282(P2006-103282A)

【公開日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-016

【出願番号】特願2004-296765(P2004-296765)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクタンクのインクなしエラーを制御するインクジェット記録装置において、
ユーザの指示を入力するための入力部と；

上記入力部への入力に基づきインクなしエラーを解除する解除手段と；

上記解除手段によりインクなしエラーが解除された後に消費したインク量をドットカウントによって計測する計測手段と；

上記計測手段が所定のインク量をドットカウントによって計測するとインクなしエラー信号を再び発生させる第 1 の発生手段と；

上記解除手段によりインクなしエラーが解除されてからの時間を計測するタイマ手段と
；

上記タイマ手段により所定の時間が計測されると再びインクなしエラー信号を発生させる第 2 の発生手段と；

を有し、

上記第 2 の発生手段は、上記計測手段により所定のインク量が計測される前であっても上記タイマ手段により所定の時間が計測されれば再びインクなしエラーを発生させることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

電源が入るとホストから時刻情報が通知され、上記通知された時刻情報に基づき上記タイマ手段により計測された時間を更新することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、

上記所定の時間は、上記解除手段によりインクなしエラー信号を解除した回数が増えるほど短く設定されることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 4】

ユーザの指示を入力するための入力部を有し、インクタンクのインクなしエラーを制御するインクジェット記録装置の制御方法であって、

上記入力部への入力に基づきインクなしエラーを解除する解除工程と；

上記解除工程においてインクなしエラーが解除された後に消費したインク量をドットカ

ウントによって計測する計測工程と；

上記解除工程においてインクなしエラーが解除されてからの時間を計測するタイマ工程と；

上記計測工程において所定のインク量が計測される、もしくは上記タイマ工程において所定の時間が計測された場合、再びインクなしエラー信号を発生させる発生工程と；

を有することを特徴とするインクジェット記録装置の制御方法。

【請求項 5】

請求項 4 において、

電源が入るとホストから時刻情報が通知され、上記通知された時刻情報に基づき上記タイマ工程において計測された時間を更新することを特徴とするインクジェット記録装置の制御方法。

【請求項 6】

請求項 4 又は請求項 5 において、

上記所定の時間は、上記解除工程においてインクなしエラー信号を解除した回数が増えるほど短く設定されることを特徴とするインクジェット記録装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、インクタンクのインクなしエラーを制御するインクジェット記録装置において、ユーザの指示を入力するための入力部と、上記入力部への入力に基づきインクなしエラーを解除する解除手段と、上記解除手段によりインクなしエラーが解除された後に消費したインク量をドットカウントによって計測する計測手段と、上記計測手段が所定のインク量をドットカウントによって計測するとインクなしエラー信号を再び発生させる第 1 の発生手段と、上記解除手段によりインクなしエラーが解除されてからの時間を計測するタイマ手段と、上記タイマ手段により所定の時間が計測されると再びインクなしエラー信号を発生させる第 2 の発生手段とを有し、上記第 2 の発生手段は、上記計測手段により所定のインク量が計測される前であっても上記タイマ手段により所定の時間が計測されれば再びインクなしエラーを発生させることを特徴とするインクジェット記録装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 1～請求項 6 記載の発明によれば、インクタンク交換せずに、インクなしエラー信号を解除したことによって、突然インク切れになり、印字がかすれてしまうことを予防することができるという効果を奏する。